

# 令和4年度 自己評価・学校関係者評価 報告書①

岐阜県立池田高等学校

学校番号 20

## I 自己評価

1 学校教育目標	校訓「向学・友愛・錬磨」の下、明るく規律ある学校生活を通して、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな、心身ともに健全な人間形成を期すとともに、持続可能な社会の発展に貢献できる人間の育成に努める。		
2 スクール・ポリシー	<p>『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー (GP)</p> <p>① 身につけた知識やスキルを活かして、自立(自律)し、自分で考え、困難に立ち向かう努力ができる生徒</p> <p>② 個性や知性を武器に、環境の変化を恐れず、自信をもって挑戦できる生徒</p> <p>③ ユネスコスクールの理念を誇りに思い、持続可能な地域・社会・未来の実現に向けて、多様な人々と協働しながら、地域のリーダーとして行動できる生徒</p>	<p>『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー (CP)</p> <p>① 生徒の能力や学習状況等に依りて常に工夫改善し、生徒自らが学力の定着と向上を図っていく探究的な授業を実施します。</p> <p>② 培った知識・スキルを活かし、主体・協働的な活動を通じて、キャリアステージにつなげる「総合的な探究の時間」を実施します。</p> <p>③ ユネスコスクールとしてESDを推進し、グローバルな視点を持ちながら、地域と協働する実践的な探究活動を実施します。</p>	<p>『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー (AP)</p> <p>① 将来の夢や目標に向け、自分の基礎を築き、自分の強みを伸ばすために、探究的な学びに挑戦したい生徒</p> <p>② 自身をしっかりと見つめ、さらに多様な他者との対話を通して、考えを広め深める体験がしたい生徒</p> <p>③ ユネスコスクールの理念に賛同し、福祉・環境・国際等の分野で活躍したい生徒</p>

3 評価する領域・分野	<b>◇教育課程・学習指導</b>	
4 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<p>今年度の新入生より、単位制としてスタートした。主体的なコース選択をさせ、弾力的な教育目標の達成に向け、学習指導体制を構築することで、個別最適化された学びを提供する必要がある。</p> <p>個に応じた指導としては「本校ではICTを活用した学習活動や協働的な学びの機会、オンライン等での学習支援があり、学習の理解につながっている」について80%以上の生徒が肯定的な評価をしている。対して、保護者アンケートの「学校は授業や家庭学習への指導・支援等を通して、一人一人の能力に応じた支援を行っている」に関する肯定的な評価が7割を切っている。</p>	
5 今年度の具体的かつ明確な重点目標	生徒の主体的な学習態度と教員の授業力向上を図ることで、確かな学力の伸長を目指すとともに総合的な探究の時間を中心に全ての授業でESDを推進する。	
6 重点目標を達成するための校内における組織体制	企画委員会・教育課程委員会・各教科会・職員会議を通して全職員の意識の向上を図る。	
7 目標の達成に必要な具体的な取組	8 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<p>①身に付けた情報活用能力をもとに、生徒が個別最適化された学びが行えるよう授業内容・方法を研究・実践する。</p> <p>②探究活動を中心に外部教育プログラムを活用し、自治体や教育機関等の多様な人々と協働することで地域課題を自分事として考え行動する力を育む。</p> <p>③コース選択及び学校設定科目・教科に関するガイダンスを充実し、生徒の個性や進路希望に応じた学びを充実させる。</p>	<p>①県ICT活用調査で肯定的評価80%以上</p> <p>②授業評価で肯定的評価80%以上、及び生徒の意識・行動変容に関する調査</p> <p>③科目ガイダンス等の満足度調査</p>	
9 取組状況・実践内容等	10 評価視点	11 評価
<p>・教員相互の授業参観やICTの効果的な授業活用に関する職員研修を活発にし、生徒が個別最適化された学びができるように、教材を工夫し、また生徒が自分の理解度に合わせて学べるよう授業改善を行う。</p>	<p>① 授業アンケート「授業の進み方や難易度が、自分の理解度に合わせて選択できる」、「教材・教具（資料、ICT活用など）が工夫されている」「授業を受けて、さらに主体的に深く学ぼう</p>	<p>A B C D</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>ESDを通して、社会の諸問題について考え、解決するための学びを推進することで、生徒が持続可能な社会の担い手としての意識づけを行う。</li> <li>総合的な探究の時間で地域の自治体、大学や企業と連携する機会を設け、課題解決学習を進めて成果発表を行い、地域や社会の現状から課題を見つけ出し、課題を自分事として考え行動する力を育む。</li> <li>生徒自らのキャリア形成を見据えたコース選択をさせるため、ガイダンスを充実させると同時に担任、コース担当教諭との懇談を活発に行う</li> </ul>	<p>と思う」に対する肯定的評価が80%以上。</p> <p>②授業アンケート「授業や教材の内容について、SDGsとの関りを学ぶ機会がある」および、学校設定科目「地域」の授業評価における肯定的評価が80%以上。</p> <p>③総合的な探究の時間に関わる授業アンケートの全評価項目について肯定的な評価が80%以上</p> <p>④コース選択のための系統別ガイダンスのおよび自身のコース登録に関する満足度評価において肯定的な評価が80%以上。</p>	<p>A <input checked="" type="checkbox"/> B C D</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> A B C D</p> <p>A <input checked="" type="checkbox"/> B C D</p>
12 成果・課題	<p>○生徒の授業評価において、「授業の進み方や難易度が、自分の理解度に合わせて選択できる」、「教材・教具（資料、ICT活用など）が工夫されている」「授業を受けて、さらに主体的に深く学ぼうと思う」等の項目について、「そう思う」、「だいたいそう思う」と答えた生徒が90%を超えており、職員研修による授業改善やICTの活用が進み個別最適化された学びが達成されつつある。</p> <p>○総合的な探究の時間において自治体、大学や企業と連携を行った。総合的な探究の時間に対する生徒の満足度（評価項目に「そう思う」、「だいたいそう思う」と答えた生徒）が95%を超えており、持続可能な社会の実現に向けて主体的に学ぼうとする意欲が生徒に醸成されているようである。</p> <p>○コース選択について、来年度自主的に7限目の授業を選択した生徒が77%おり、主体的なコース選択ができていくことがわかる。</p> <p>▲「授業や教材の内容について、SDGsとの関りを学ぶ機会がある」について肯定的に応えた生徒が80%を下回っている。</p> <p>▲コース選択において、コース選択の時期が早すぎると答えた生徒が多かった。</p>	<p>総合評価</p> <p>A <input checked="" type="checkbox"/> B C D</p>
13	<p>来年度に向けての改善方策案</p> <p>今後はさらにユネスコスクールとしてESDの視点を学習活動に取り入れ、地域社会および世界の課題を自分事としてとらえられるようにする必要がある。</p> <p>授業評価における生徒の満足度には改善の傾向があるが、基礎学力の定着には不安が残る。日々の授業において積み重ねを大切に、予習・復習・宿題のサイクルの定着を図る必要がある。特に課題の提出および学力の定着についてさらなる支援が必要となる事例が増えつつある。継続的かつ丁寧な指導をさらに充実させたい。</p> <p>コース登録の時期について生徒から不満が多かったが、システム上登録の時期を変更することはできない。入学時から生徒自身がコース選択について考えるきっかけを与える必要があるし、教育課程やキャリア形成に関わる情報提供およびガイダンスについて今以上に充実させていく必要がある。</p>	

## II 学校関係者評価

実施年月日：令和5年1月25日

<p>【意見・要望・評価等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個別最適化された学びという点で、コース選択が多く生徒にとって魅力があると思う。7限選択授業を来年度も希望する生徒が77%もいるということは素晴らしい。生徒の実態をよく見ていることが要因となっていると思う。</li> <li>みんなで教育活動の底上げをする努力をしていることが分かった。生徒も教員も自分事として将来に向けた努力を来年度も継続してほしい。</li> <li>これからの労働力を考えたとき、国際化は欠かせない。この地域にもそうした土壌・環境づくりに携わっていただける人材が必要である。</li> </ul>
--